

# 球磨神楽



## 球磨神楽(くまかぐら)〈国指定無形民俗文化財〉

球磨神楽は、多くの神社の拝殿を舞処(まいど)とし、祭礼の宵宮や祭礼当日の祭典で演じられてきました。10月8日青井阿蘇神社で始まる神楽奉納は、2ヶ月にわたり行われ、12月の市房神社で締めくくられています。

球磨神楽の特色は、伝承演目17番のうち「獅子」を除くすべてが直面(ひためん)による採物舞(とりものまい)であるという点です。御幣や鈴などを手にした舞人の回って回り返す基本の動きに隊列移動や軽快な足踏みが加わって、おっとりした品の良い趣ながら、緩急自在の闊達さも見せる神楽です。